

県内の合板工場で世界初となる大型の合板製造装置を導入

国内の合板生産において国産材の利用が拡大している中、スギを原料とする場合は比較的軟質であることから、製品の厚みの精度を向上させるためには横型の合板接着用プレス機（横型ホットプレス）が必要となる。

今回、この横型ホットプレスとしては、世界初となる一度に 140 枚もの加工ができるプレス機が開発され、その第 1 号機を林ベニヤ産業(株)七尾工場が石川県の補助を受けて導入し、5 月から試運転を行い、5 月 30 日から供用を始めた。

導入場所：林ベニヤ産業(株) 七尾工場（七尾市大田町）

供用開始：平成 26 年 5 月 30 日

導入機械：横型 140 段 アコーディオンホットプレス（製造元：(株)太平製作所）

県の補助：平成 25 年度森林整備・林業活性化基金事業

今回導入された横型ホットプレス機



合板製造の流れ

